

厚生労働大臣 殿

広島大学病院長 越智 光

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法第12条の3の規定に基づき、平成18年度の業務に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	144人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照(様式第12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照(様式第13)
- 7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	419人	0人	419人	看護業務補助	54人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	198人	0人	198人	理学療法士	10人	臨床検査技師	55人
薬剤師	50人	0人	50人	作業療法士	5人	臨床検査 衛生検査技師	0人
保健師	1人	0人	1人	視能訓練士	6人	その他	0人
助産師	11人	0人	11人	義肢装具士	0人	あんまマッサージ指圧師	0人
看護師	586人	37人	615.2人	臨床工学技士	10人	医療社会事業従事者	5人
准看護師	3人	0人	3人	栄養士	0人	その他の技術員	6人
歯科衛生士	19人	0人	19人	歯科技工士	6人	事務職員	180人
管理栄養士	5人	0人	5人	診療放射線技師	34人	その他の職員	122人

- (注) 1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

- 8 入院患者、外来患者及び調剤の数
歯科、矯正歯科及び小児歯科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	651.1人	23.9人	675.0人
1日当たり平均外来患者数	1573.0人	492.8人	2065.8人
1日当たり平均調剤数	1443 剤		

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

(様式10)

高度の医療の提供の実績

1 高度先進医療の承認の有無及び取扱い患者数

高度先進医療の種類(医科)	承認	取扱い患者数
・顔面骨又は頭蓋骨の観血的移動術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・培養細胞による先天性代謝異常診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・溶血性貧血症の病因解析ならびに遺伝子解析診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的埋め込み電極を用いた機能的電子刺激療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工括約筋を用いた尿失禁の治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input type="radio"/> 無	人
・実物大臓器立体モデルによる手術計画	有・ <input type="radio"/> 無	人
・性腺機能不全の早期診断法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・経皮的レーザー椎間板切除術(内視鏡下を含む)	有・ <input type="radio"/> 無	人
・造血器腫瘍細胞における薬剤耐性遺伝子産物P糖蛋白の測定	有・ <input type="radio"/> 無	人
・スキンドファイバー法による悪性高熱症診断法	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	0人
・血小板膜糖蛋白異常症の病型及び病因診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・焦点式高エネルギー超音波療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・オープンMRを用いた腰椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・肺腫瘍のCTガイド下気管支鏡検査	有・ <input type="radio"/> 無	人
・先天性血液凝固異常症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・筋緊張性ジストロフィーのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・SDI法による抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・栄養障害型表皮水疱症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・家族性アミロイドーシスのDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・三次元形状解析による顔面の形態的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・マス・スペクトロメトリーによる家族性アミロイドーシスの診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input type="radio"/> 無	人
・子宮頸部前がん病変のHPV-DNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・不整脈疾患における遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・ <input type="radio"/> 無	1人
・画像支援ナビゲーション手術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性腫瘍に対する粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・エキシマレーザーによる治療的角膜切除術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・成長障害のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・生体部分肺移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・乳房温存療法における鏡視下腋窩郭清術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・門脈圧亢進症に対する経頸静脈肝内門脈大循環短絡術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色種におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱性病変に対する経皮的骨形成術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・声帯内自家側頭筋膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・骨髓細胞移植による血管新生療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ミトコンドリア病のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索	有・ <input type="radio"/> 無	人
・鏡視下肩峰下腔徐圧術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・神経変性疾患のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊髄性筋萎縮症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・難治性眼疾患に対する羊膜移植術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・固形がんに対する重粒子線治療	有・ <input type="radio"/> 無	人
・脊椎腫瘍に対する腫瘍脊椎骨全摘術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・カフェイン併用化学療法	有・ <input type="radio"/> 無	人
・ ³¹ P-磁気共鳴スペクトロスコピーとケミカルシフト画像による糖尿病性足病変の非侵襲的診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・特発性男性不妊症又は性腺機能不全症の遺伝子診断	有・ <input type="radio"/> 無	人
・胎児尿路・羊水腔シャント術	有・ <input type="radio"/> 無	人
・遺伝性コプロポルフィン症のDNA診断	有・ <input type="radio"/> 無	人

高度先進医療(医科)	承認	取扱い患者数
・固形腫瘍(神経芽腫)のRNA診断	有・無	人
・硬膜外腔内視鏡による難治性腰下肢痛の治療	有・無	人
・重症BCG副反応症例における遺伝子診断	有・無	人
・自家液体窒素処理骨による骨軟部腫瘍切除後骨欠損の再建	有・無	人
・膝腫瘍に対する腹腔鏡補助下膝切除術	有・無	人
・低悪性度非ホジキンリンパ腫の遺伝子診断	有・無	人
・悪性脳腫瘍に対する抗がん剤治療における薬剤耐性遺伝子解析	有・無	人
・高発がん性遺伝性皮膚疾患のDNA診断	有・無	人
・筋過緊張に対するmuscle afferent block(MAB)治療	有・無	人
・Q熱診断における血清抗体価測定及び病原体遺伝子診断	有・無	人
・エキシマレーザー冠動脈形成術	有・無	人
・活性化Tリンパ球移入療法	有・無	人
・抗がん剤感受性試験(CD-DST法)	有・無	人
・胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・家族性アルツハイマー病の遺伝子診断	有・無	人
・腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	有・無	人
・膀胱尿管逆流症に対する腹腔鏡下逆流防止術	有・無	人
・中枢神経白質形成異常症の遺伝子診断	有・無	人
・三次元再構築画像による股関節疾患の診断と治療	有・無	人
・樹状細胞及び腫瘍抗原ペプチドを用いたがんワクチン療法	有・無	人
・内視鏡下甲状腺がん手術	有・無	人
・骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	有・無	人
・泌尿生殖器腫瘍の後腹膜リンパ節転移に対する腹腔鏡下リンパ節郭清術	有・無	人
・HLA抗原不一致血縁ドナーからのCD34陽性造血幹細胞移植	有・無	人
・下肢静脈瘤に対する血管内レーザー治療法	有・無	人
・頸椎椎間板ヘルニアに対するヤグレーザーによる経皮的椎間板減圧術(CT透視下法)	有・無	人
・胎児胸腔・羊水腔シャントチューブ留置術	有・無	人
・活性化血小板の検出	有・無	人
・早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索	有・無	人
・ケラチン病の遺伝子診断	有・無	人
・隆起性皮膚線維肉腫の遺伝子診断	有・無	人
・末梢血幹細胞(CD34陽性細胞に限る。)による血管再生治療	有・無	人
・末梢血単核球移植による血管再生治療	有・無	人
・副甲状腺内活性型ビタミンD(アナログ)直接注入療法	有・無	人
・グルタミン受容体自己抗体による自己免疫性神経疾患の診断	有・無	人
・腹腔鏡下広汎子宮全摘出術	有・無	人
・一絨毛膜性双胎妊娠において発症した双胎間輸血症候群に対する内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術	有・無	人
・自己腫瘍(組織)を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	4人
・自己腫瘍(組織)及び樹状細胞を用いた活性化自己リンパ球移入療法	有・無	人

高度先進医療(歯科)	承認	取扱い患者数
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節症の補綴学的治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
・接着ブリッジによる欠損補綴並びに動揺歯固定	<input checked="" type="radio"/> 有・無	6人
・光学印象採得による陶材歯冠修復法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	0人
・エックス線透視下非観血的唾石摘出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・レーザー応用によるう蝕除去・スケーリングの無痛療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節鏡視下レーザー手術併用による円板縫合固定術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎関節脱臼内視鏡下手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・耳鼻いんこう科領域の機能障害を伴った顎関節症に対する中耳伝音系を指標とした顎位決定法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

先進医療の種類	承認	取扱い患者数
・高周波切除器を用いた子宮腺筋症核出術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・自動吻合器を用いた直腸粘膜脱又は内痔核手術(PPH)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる膝関節再建手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・凍結保存同種組織を用いた外科治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・強度変調放射線治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・胎児心超音波検査	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・内視鏡下小切開泌尿器腫瘍手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・画像支援ナビゲーションによる内視鏡下鼻内副鼻腔手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・インプラント義歯	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・顎顔面補綴	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・人工中耳	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・歯周組織再生誘導法	<input checked="" type="radio"/> 有・無	3人
・抗がん剤感受性試験	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・腹腔鏡下肝切除術	<input checked="" type="radio"/> 有・無	1人
・生体部分肺移植術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・活性化血小板の検出	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・末梢血幹細胞による血管再生治療	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・カラー蛍光観察システム下気管支鏡検査及び光線力学療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・先天性銅代謝異常症の遺伝子診断	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・超音波骨折治療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・眼底三次元画像解析	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・CYP2C19遺伝子多型検査に基づくテラレーメイドのヘリコバクター・ピロリ除菌療法	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・非生体ドナーから採取された同種骨・靭帯組織の凍結保存	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・X線CT診断装置及び手術用顕微鏡を用いた歯根端切除手術	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人
・定量的CTを用いた有限要素法による骨強度予測評価	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	人

(注)1 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること

2 高度先進医療で上の表に掲げられていないものを行っている場合は、空欄の部分に記入すること。

3 先進医療で上の表に掲げているものは、今年度の業務に関する報告の対象ではないが来年度以降の参考のため記入すること。

2 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱い患者数	疾 患 名	取扱い患者数
・ペーチェト病	64人	・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	24人
・多発性硬化症	117人	・ウェゲナー肉芽腫症	11人
・重症筋無力症	51人	・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	35人
・全身性エリテマトーデス	235人	・多系統萎縮症	31人
・スモン	6人	・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	6人
・再生不良性貧血	63人	・膿疱性乾癬	5人
・サルコイドーシス	47人	・広範脊柱管狭窄症	5人
・筋萎縮性側索硬化症	53人	・原発性胆汁性肝硬変	42人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	135人	・重症急性膵炎	4人
・特発性血小板減少性紫斑病	119人	・特発性大腿骨頭壊死症	64人
・結節性動脈周囲炎	16人	・混合性結合組織病	26人
・潰瘍性大腸炎	271人	・原発性免疫不全症候群	12人
・大動脈炎症候群	14人	・特発性間質性肺炎	10人
・ビュルガー病	45人	・網膜色素変性症	11人
・天疱瘡	22人	・プリオン病	1人
・脊髄小脳変性症	101人	・原発性肺高血圧症	3人
・クローン病	208人	・神経線維腫症	23人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	9人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・悪性関節リウマチ	14人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	3人
・パーキンソン病関連疾患	173人	・特発性慢性肺血栓栓症(肺高血圧型)	1人
・アミロイドーシス	7人	・ライソゾーム病(ファブリー「Fabry」病)含む	5人
・後縦靭帯骨化症	41人	・副腎白質ジストロフィー	2人
・ハンチントン病	4人		

(注) 「取扱い患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

3 病院・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	① 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。	
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	1週間に1~2回程度 1カ月に7回程度	
剖 検 の 状 況	剖検症例数 63 例	剖検率 15.3 %

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価の実績

1 研究費補助等の実績

研 究 課 題 名	研 究 者 氏 名	所 属 部 門	金 額		補 助 元 又 委 託 元
骨形成因子を応用したチタンインプラントの高機能ナノバイオ表面改質	阿部 泰彦	口腔インプラント診療科	2300 ^{千円}	補委	文部科学省科学研究費補助金
特発性大腿骨頭壊死症の予防と治療の標準化を目的とした総合研究	安永 裕司	整形外科	800	補委	文部科学省科学研究費補助金
LightSpeed VCTの有用性に関する総合研究	伊藤 勝陽	放射線科	750	補委	ジーイー横河メディカルシステム株式会社
末梢神経における拡散強調画像の検討	伊藤 勝陽	放射線科	750	補委	ジーイー横河メディカルシステム株式会社
CT/MRI画像解析ソフトウェアに関する開発・評価	伊藤 勝陽	放射線科	50	補委	株式会社 AZE
ステロイド離脱療法を目指した無毒化エンドキシミアナログによる免疫制御療法の確立	伊禮 俊充	第二外科	1300	補委	文部科学省科学研究費補助金
口腔内組織をソースとした歯槽骨再生用幹細胞の探索	井上 俊二	咬合・義歯診療科	1400	補委	文部科学省科学研究費補助金
間質性膀胱炎の尿中診断マーカーに関する探究的研究	碓井 亜	泌尿器科	1100	補委	大鵬薬品工業株式会社 テーラーメイド医療研究所
前立腺癌におけるアンドロゲンレセプター共役因子の機能解析と臨床応用	碓井 亜	泌尿器科	1800	補委	文部科学省科学研究費補助金
磁気標識した骨髄間葉系幹細胞と関節内埋込み型磁性体を使用した関節軟骨の修復	越智 光夫	整形外科	2000	補委	独立行政法人科学技術振興機構 研究成果活用プラザ広島
培養軟骨による再生治療法の社会普及	越智 光夫	整形外科	3300	補委	株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング
「自家リンパ球-磁気ビーズ」複合体及び磁性体リポソームを用いた癌治療に関する研究	越智 光夫	整形外科	500	補委	文部科学省科学研究費補助金
「自家骨髄間葉系幹細胞-磁気ビーズ」複合体及び磁性体リポソームを用いた四肢再生	越智 光夫	整形外科	3800	補委	文部科学省科学研究費補助金
肺および気道線維化のメカニズムの解明とその制御	横山 彰仁	第二内科	1000	補委	文部科学省科学研究費補助金
再発高危険群の大腸がんに対する術後補助化学療法に関する研究	岡島 正純	第二外科	1000	補委	文部科学省科学研究費補助金
進行性大腸がんに対する低侵襲治療法の確立に関する研究	岡島 正純	第二外科	380	補委	文部科学省科学研究費補助金
マルチファイバー型非接触剛性イメージャを用いた内視鏡手術用触覚センサの開発	岡島 正純	第二外科	3200	補委	文部科学省科学研究費補助金
気分障害の治療システムの開発と検証に関する研究	岡本 泰昌	精神科神経科	1100	補委	支出負担行為担当官 国立精神・神経センター

計 18

研 究 課 題 名	研 究 者 氏 名	所 属 部 門	金 額	補 助 元 又 委 託 元
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	岡本 泰昌	精神科神経科	4000 ^{千円}	補委 文部科学省科学研究費補助金
精神療法の実施方法と有効性に関する研究	岡本 泰昌	精神科神経科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
強化学習理論を用いたうつ病の機能仮説の検証	岡本 泰昌	精神科神経科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
セミパラチンスク核実験場周辺に多発する顎顔面口腔異常の分子疫学的調査研究	岡本 哲治	顎・口腔外科	3100	補委 文部科学省科学研究費補助金
プロテオーム解析を用いた口腔癌の分子標的の探索とそのオーダーメイド医療への応用	岡本 哲治	顎・口腔外科	6800	補委 文部科学省科学研究費補助金
無血清再集合培養系を用いたマウスES及びヒト骨髄間葉系幹細胞からの顎骨・歯胚誘導	岡本 哲治	顎・口腔外科	1900	補委 文部科学省科学研究費補助金
癌細胞が取り込む陽電子放射断層撮影用薬剤を応用したリポソームによる抗癌剤標的治療	下瀬 省二	整形外科	1900	補委 文部科学省科学研究費補助金
マウス骨芽細胞様細胞のVEGF発現に及ぼす周期的伸張刺激の影響	加来 真人	矯正歯科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
神経ペプチドと増殖因子による皮膚潰瘍治療法の開発	河合 幹雄	皮膚科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
ひ素ミルク中毒から50年が経過した患者の歯科受診要因と口腔保健・医療ニーズ	河村 誠	予防歯科診療科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
びまん性肺疾患に関する調査研究	河野 修興	第二内科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
特発性肺線維症の予後改善を目指したサイクロスポリン＋ステロイド療法ならびにNアセチルシステイン吸入療法に関する臨床研究	河野 修興	第二内科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト造血幹細胞におけるポリコム遺伝子群による制御機構	梶梅 輝之	小児科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
上皮・間葉移行の解明による口腔癌の浸潤転移の制御	鎌田 伸之	口腔顎顔面再建外科	7400	補委 文部科学省科学研究費補助金
CAGリピートの伸長した新規遺伝子の脊髄小脳失調症への関与	丸山 博文	放射線科	2400	補委 文部科学省科学研究費補助金
時計遺伝子による骨分化誘導メカニズムの解析	岩田 倫幸	歯周診療科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
海洋生物からの抗腫瘍生理活性物質の探索とその分子標的および作用機序の解明	吉岡 幸男	顎・口腔外科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
四肢悪性腫瘍に対する新しい殺腫瘍ウイルス・デリバリー・システムの開発	久保 忠彦	整形外科	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
Heparanaseによる癌浸潤転移機構の解明とその制御法の確立	宮田 義浩	第二外科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
日本人の緑内障に対するより有効な予防と治療 臨床的・基礎的エビデンスの確立	金本 尚志	眼科	5000	補委 文部科学省科学研究費補助金
網膜における細胞の生死と文化に関わるWNTシグナル伝達系の探求	金本 尚志	眼科	1400	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
常圧過熱水蒸気及びプラズマベースイオン利用による洗浄滅菌装置の開発(知的創造による地域産学官連携強化プログラム「知的クラスター創成事業」)	栗原 英見	歯周診療科	17864	補委 財団法人ひろしま産業振興機構
BDNFを用いた歯周再生に関する研究	栗原 英見	歯周診療科	4000	補委 株式会社ツーセル
歯周組織細胞を用いた歯周組織再生療法の確立と臨床応用	栗原 英見	歯周診療科	900	補委 文部科学省科学研究費補助金
日本人歯周病患者の遺伝子多型に基づく感受性検査および診断の確立	栗原 英見	歯周診療科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
脳由来神経栄養因子を用いた歯周組織再生療法の確立	栗原 英見	歯周診療科	7800	補委 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病性神経障害モデルラットにおけるオレキシン-Aの鎮痛作用機序に関する研究	栗田 茂顕	麻酔科蘇生科	700	補委 文部科学省科学研究費補助金
免疫性神経疾患に関する調査研究	郡山 達男	第三内科	900	補委 文部科学省科学研究費補助金
その他、がんの実態把握とがん情報の発信に関する特に重要な研究 -Japanese National Cancer Database(JNCDB)の構築-	権丈 雅浩	放射線科	150	補委 文部科学省科学研究費補助金
放射線治療システムの精度管理と臨床評価に関する研究	権丈 雅浩	放射線科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
平成18年度不妊に悩む者に対する支援体制確立のための臨床研究	原 鐵晃	産科婦人科	2714	補委 広島県
多分化能を有する羊膜幹細胞の超大量増幅と細胞バンク化へ向けた基礎的検討	原 鉄晃	産科婦人科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
骨髄異形成症候群の多段階発症メカニズムの解明	原田 浩徳	原医研内科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
前庭機能異常に関する調査研究	工田 昌也	耳鼻咽喉科	1200	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌におけるSkp2およびCks1タンパクの過剰発現のメカニズムの解明	工藤 保誠	口腔検査センター	1600	補委 文部科学省科学研究費補助金
う蝕原因菌特異的溶解酵素の口腔レンサ球菌臨床分離株に対する効果に関する研究	香西 克之	小児歯科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
パーキンと相補的な新規レビン小体構成蛋白Siah-1による凝集体形成機序の解析	高橋 哲也	第三内科	1400	補委 文部科学省科学研究費補助金
中国四国ブロック・エイズ医療システム構築に関する調査研究	高田 昇	輸血部	13000	補委 広島県
アメロラスチンペプチドhSPN16の骨分化促進メカニズムの解明	高田 隆	口腔検査センター	1050	補委 生化学工業株式会社
PC-1を標的としたセメント質形成機構の解明と歯周再生療法開発に関する萌芽研究	高田 隆	口腔検査センター	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
アメロラスチン合成ペプチドによる新規骨治療薬の開発	高田 隆	口腔検査センター	4000	補委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又委託元
トシル酸スプラタストによる新しい免疫学的機序の検討	高萩 俊輔	皮膚科	500 ^{千円}	補委 文部科学省科学研究費補助金
糖尿病を合併している心臓のβ情報伝達系に対する静脈麻酔薬の影響	黒川 博己	麻酔科蘇生科	600	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト末梢血由来血管内前駆細胞移植による脊髄再生	佐々木 浩文	整形外科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
がん長期生存者とその家族の精神的健康	佐伯 俊成	総合診療科	1600	補委 文部科学省科学研究費補助金
住民の歯科保健行動と地域歯科保健活動の因果関係－MIDORIモデルとのギャップ－	笹原 妃佐子	予防歯科診療科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	山下 英尚	精神科神経科	3000	補委 文部科学省科学研究費補助金
脳血管性うつ病の長期的な機能障害に重要な役割を果たす要因の検討	山下 英尚	精神科神経科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
高感度定量的プロテオーム解析を用いた糖尿病網膜症の病態解明	山根 健	眼科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
骨芽細胞の増殖・分化に及ぼすFGFスーパーファミリーの影響	山中 威典	口腔インプラント診療科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
胃癌におけるWnt-5a蛋白質発現と浸潤・転移能との関係に関する検討－Wnt-5aを分子標的とした胃癌診断・治療開発に向けて－	山本 英喜	第二外科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
地域における外傷登録制度(Trauma registry)とその医学教育への活用	山野上 敬夫	救急部	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	山脇 成人	精神科神経科	31000	補委 文部科学省科学研究費補助金
衝動性と将来報酬予測機能における脳内セロトニンの役割	山脇 成人	精神科神経科	4000	補委 文部科学省科学研究費補助金
脳血管性うつ病の病態と治療に関する脳機能画像解析研究	山脇 成人	精神科神経科	5900	補委 文部科学省科学研究費補助金
血管内皮前駆細胞による血管再生を介した骨壊死に対する細胞療法の開発	寺山 弘志	整形外科	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯髄・根尖部歯周組織の創傷治癒メカニズムの解明と再生療法への応用	柴 秀樹	歯周診療科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
抗菌ペプチドによる歯髄・象牙質複合体の再生	柴 秀樹	歯周診療科	1800	補委 文部科学省科学研究費補助金
アレルギーの発症・悪化を防ぐヘルスケア技術開発～汗と食物によるアトピー克服戦略～(知的創造による地域産学官連携強化プログラム「知的クラスター創成事業」)	秀 道広	皮膚科	66847	補委 財団法人ひろしま産業振興機構
アトピー性皮膚炎の症状の制御および治療法の普及に関する研究	秀 道広	皮膚科	2700	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
ガイドライン普及のための対策とそれに伴うQOL向上に関する研究	秀道広	皮膚科	1000 <small>千円</small>	補助委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト唾液腺腫瘍におけるCENP遺伝子の発現および機能解析	重石 英生	口腔顎顔面再建外科	1000	補助委 文部科学省科学研究費補助金
ヘムオキシゲナーゼ(HO)-1の誘導能からみた酸化ストレス防御能の臨床的評価	小園 亮次	検査部	1100	補助委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌の浸潤・転移に関わる新規因子の同定	小川 郁子	口腔検査センター	1300	補助委 文部科学省科学研究費補助金
RNAi法を用いた口腔癌に対するVEGF・同受容体を分子標的とした治療法の開発	小泉 浩一	顎・口腔外科	1500	補助委 文部科学省科学研究費補助金
PTSDモデルラットを用いた本障害の発生脆弱性や新規治療法開発の研究	小鶴 俊郎	精神科神経科	1200	補助委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌におけるEGFRの遺伝子変異・増幅・発現とそれを標的とした治療薬の基礎研究	小野 重弘	口腔顎顔面再建外科	800	補助委 文部科学省科学研究費補助金
①難病ネットワークの構築に関する研究②小児難病ネットワーク構築に関する研究	小林 正夫	小児科	4219	補助委 広島県・広島市
平成18年度HIV感染者等保健福祉相談推進研究	小林 正夫	小児科	1260	補助委 財団法人エイズ予防財団
Wntシグナル伝達因子を標的とした口腔癌の分子標的診断・治療法の開発研究	小林 雅史	顎・口腔外科	2000	補助委 文部科学省科学研究費補助金
原発性免疫不全症候群に関する調査研究	小林 正夫	小児科	1500	補助委 文部科学省科学研究費補助金
ホルモン不応性ヒト前立腺癌に対する新しい治療法の開発	松原 昭郎	泌尿器科	1800	補助委 文部科学省科学研究費補助金
①難病ネットワークの構築に関する研究②小児難病ネットワーク構築に関する研究	松本 昌泰	第三内科	6900	補助委 広島県・広島市
ゾニサミドの神経保護効果に関する研究	松本 昌泰	第三内科	2600	補助委 大日本住友製薬株式会社薬理研究所
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究	松本 昌泰	第三内科	700	補助委 文部科学省科学研究費補助金
内在性およびES細胞由来神経幹細胞の最適制御による虚血性損傷脳再生療法法の確立	松本 昌泰	第三内科	6600	補助委 文部科学省科学研究費補助金
肝再生環境下の移植隣島生着促進メカニズムの解明	上村 健一郎	第一外科	800	補助委 文部科学省科学研究費補助金
VEGF-C-VEGFR3を標的とした口腔癌の分子標的治療の開発研究	新谷 智章	口腔検査センター	2300	補助委 文部科学省科学研究費補助金
難治性うつ病の治療反応性予測と客観的診断法に関する生物・心理・社会的統合研究	森信 繁	精神科神経科	4000	補助委 文部科学省科学研究費補助金
エピジェネティクスによるうつ病発症・難治化の機序解明	森信 繁	精神科神経科	4100	補助委 文部科学省科学研究費補助金
ストレス性精神障害の発症機序に関するエピジェネティックプログラムの解明	森信 繁	精神科神経科	1300	補助委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補助元又委託元
悪性グリオーマの多核化・分裂細胞死に関わるSurvivin、p16の役割の解明	杉山 一彦	脳神経外科	2400 ^{千円}	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌の発癌へのヒトパピローマウイルスの関与について	杉山 勝	口腔顎顔面再建外科	3100	補委 文部科学省科学研究費補助金
インプラントの初期固定予測システムの開発	是竹 克紀	口腔インプラント診療科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
新規抗癌剤の開発のためのテロメラーゼおよび癌遺伝子導入細胞を用いたゲノム創薬標的の探索	西山 正彦	原医研外科	9900	補委 大鵬薬品工業株式会社 飯能研究センター
がんの早期診断および予後診断に役立つ腫瘍マーカーの開発	西山 正彦	原医研外科	1400	補委 文部科学省科学研究費補助金
消化器がんテイラード化学療法:治療効果予測系と大規模臨床評価システムの確立	西山 正彦	原医研外科	4500	補委 文部科学省科学研究費補助金
カテプシン-Lプロモーターの薬剤応答配列を標的とした歯肉増殖症の治療法開発	西村 英紀	むし歯・変色歯診療科	2100	補委 文部科学省科学研究費補助金
ペリオドンタルメディシンの機序解明ー歯周感染に対する肝細胞応答を中心に	西村 英紀	むし歯・変色歯診療科	6000	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯周疾患が全身に及ぼす影響の疫学的研究	西村 英紀	むし歯・変色歯診療科	2700	補委 文部科学省科学研究費補助金
高度吸収顎堤再生のための高齢者向け非細胞性骨造成法の開発	西村 正宏	咬合・義歯診療科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
ホルモン不応性前立腺癌におけるIGFBP-rP1を用いた新治療法の基礎的検討	石 光広	泌尿器科	1200	補委 文部科学省科学研究費補助金
高感度の電気化学免疫化学発光法によるGefitinib血清診断システムの開発	石川 暢久	第二内科	2100	補委 文部科学省科学研究費補助金
Mnk1/2の心血管リモデリングにおける機能の解析	石田 隆史	第一内科	1600	補委 文部科学省科学研究費補助金
真菌由来の抗原が鼻副鼻腔炎の難治化過程へ及ぼす影響についての分子生物学的解析	石野 岳志	耳鼻咽喉科	1800	補委 文部科学省科学研究費補助金
欠損歯列における補綴介入および「短縮歯列」処置に関するマルチセンター・リサーチ	赤川 安正	口腔インプラント診療科	600	補委 文部科学省科学研究費補助金
健康づくりのための個々人の身体状況に応じた適切な食事摂取に関する栄養学的研究	赤川 安正	口腔インプラント診療科	5000	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯科領域における薬剤流出人工骨の研究	赤川 安正	口腔インプラント診療科	6000	補委 契約担当役 独立行政法人医薬基盤研究所
オッセオインテグレーションの喪失予測システムの開発	赤川 安正	口腔インプラント診療科	5600	補委 文部科学省科学研究費補助金
C型肝炎への肝移植後の免疫抑制法に関する研究	浅原 利正	第二外科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒト由来細胞・組織バンクの活用拡大のためのシステム構築と研究資源の高度化に関する研究	浅原 利正	第二外科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研究者氏名	所属部門	金 額	補 助 元 又 委 託 元
進行肝細胞癌に対する集学的治療確立に関する研究	浅原 利正	第二外科	1000 ^{千円}	補委 文部科学省科学研究費補助金
血液型不適合及び異種移植におけるCD1d分子を介した糖鎖抗原認識機構の解明と制御	浅原 利正	第二外科	7900	補委 文部科学省科学研究費補助金
骨髄由来再生内皮細胞を用いた臓器移植免疫寛容の誘導	浅原 利正	第二外科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
炎症性口腔粘膜疾患の発症機構に関する細胞生物学的研究	太田 耕司	口腔顎顔面再建外科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
CD47-SIRP α 認識機構の制御による異種移植の自然および獲得免疫応答の克服	大段 秀樹	第二外科	7900	補委 文部科学省科学研究費補助金
新たに同定した肝類洞内皮細胞のT細胞抑制機構を応用した移植免疫制御法の開発	大段 秀樹	第二外科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
虚血耐性・冬眠・老化予防関連チロシン残基リン酸化蛋白質の同定	大槻 俊輔	第三内科	1040	補委 文部科学省科学研究費補助金
ミトコンドリア遺伝子異常を持つ患者細胞の細胞内カルシウム反応	但馬 剛	小児科	200	補委 独立行政法人理化学研究所
NK細胞の活性化受容体リガンドの遺伝子多型を指標とした口腔癌のオーダーメイド治療	谷 亮治	顎・口腔外科	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
メディカルコントロール体制の充実強化に関する研究(H17-医療-一般-012)	谷川 攻一	救急部	300	補委 文部科学省科学研究費補助金
Heart rate variabilityによる有害イベント予測プログラム	谷川 攻一	救急部	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
グルタミン酸誘発性網膜細胞死におけるPDGF-R- α の役割	谷本 誠治	眼科	2100	補委 文部科学省科学研究費補助金
変形性顎関節症における下顎頭軟骨吸収機序の解明と新規制御因子の探索	丹根 一夫	矯正歯科	6900	補委 文部科学省科学研究費補助金
大腸癌細胞由来微量変異APCの糞便からの検出による新しい大腸癌診断法の開発	池田 聡	第二外科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
リン酸化ペプチドを応用したチタンインプラントの生物学的表面改質	竹内 真帆	口腔インプラント診療科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
転写因子の制御機構を介した好酸球性副鼻腔炎に対するステロイドの有効性に関する解析	竹野 幸夫	耳鼻咽喉科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
「インスリン抵抗性・食後高血糖改善による心筋梗塞再発予防に関する大規模薬剤介入試験」(略名J-WIND2)	茶山 一彰	第一内科	26	補委 ヒュービットジェノミクス株式会社
B型及びC型肝炎ウイルスの感染者に対する治療の標準化に関する臨床的研究	茶山 一彰	第一内科	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
B型及びC型肝炎の疫学及び検診を含む肝炎対策に関する研究	茶山 一彰	第一内科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
C型肝炎新規治療開発に資するプロテオーム解析を用いた治療標的分子の網羅的検索系とヒト肝細胞キメラマウスHCV感染モデルを用いた実証系の開発に関する研究	茶山 一彰	第一内科	60000	補委 文部科学省科学研究費補助金
HIV感染症に合併する各種疾病に関する研究	茶山 一彰	第一内科	7000	補委 文部科学省科学研究費補助金
ヒトB, C型肝炎ウイルス感染, 慢性肝疾患モデルの創生	茶山 一彰	第一内科	5425	補委 三菱ウェルファーマ株式会社
肝細胞癌患者の核酸代謝酵素の発現に関する研究	茶山 一彰	第一内科	273	補委 大鵬薬品工業株式会社 徳島研究センター テーラード医療研究所
病期別にみた肝がん治療法の費用効果およびQOLの観点からみた有効性に関する研究	茶山 一彰	第一内科	1500	補委 文部科学省科学研究費補助金
肝細胞インターフェロン応答遺伝子ライブラリーの作製と新規抗肝炎ウイルス薬の探索	茶山 一彰	第一内科	8500	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎骨海綿骨微細構造の評価に基づいた骨粗鬆症診断支援システムの構築	中元 崇	歯科放射線科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
α-Synucleinのリン酸化を制御する新規蛋白PRAPの同定と凝集機序の解析	中村 毅	第三内科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金
高齢者の義歯治療効果を向上させる新しい口腔パワーリハビリテーション法の開発	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	4800	補委 文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌におけるTip60のアンドロゲン依存性および放射線感受性への関与	亭島 淳	泌尿器科	1200	補委 文部科学省科学研究費補助金
痴呆性高齢者の義歯装着が, 痴呆症状, 全体的健康状態およびQOLに及ぼす影響の検討	貞森 紳丞	咬合・義歯診療科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
近赤外線吸収スペクトラム解析による非侵襲的歯周検査法の検討	天野 秀昭	小児歯科	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
広島肝細胞組織バンクの設立	天野 尋暢	第二外科	1900	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎骨の超音波による測定に関する基礎的検討	田口 明	歯科放射線科	300	補委 古野電気株式会社
骨粗鬆症治療が及ぼす顎骨や歯周組織への影響	田口 明	歯科放射線科	600	補委 文部科学省科学研究費補助金
肝細胞癌に対する肝移植療法の基礎的実験: 分子標的治療を応用した肝癌再発抑制の研究	田代 裕尊	第二外科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
超音波照射の生体組織に与える影響の検討	田中 栄二	矯正歯科	1000	補委 伊藤超短波株式会社
顎顔面領域における神経因性疼痛の発生機序解明と炎症性サイトカインの関連性	田中 栄二	矯正歯科	2100	補委 文部科学省科学研究費補助金
慢性骨髄性白血病の臨床的イマチニブ耐性機序とLyn高発現性耐性細胞株の包括的解析	田中 英夫	原医研内科	1900	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
骨代謝系による歯科材料の安全性評価方法の開発	田中 伸征	むし歯・変色歯診療科	900 ^{千円}	補委 文部科学省科学研究費補助金
機械的刺激による下顎骨の成長の制御とそのメカニズムの探究	田中 伸明	矯正歯科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金
脊髄損傷に対する磁気ターゲティング法を用いた神経幹細胞投与	田中 信弘	整形外科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
胃内への胆汁酸逆流の発生頻度と胃粘膜障害背景因子との関連性についての検討。	田中 信治	光学医療診療部	1228.5	補委 大塚製薬株式会社
アトピー性皮膚炎における自己免疫寛容の破綻に関する研究	田中 稔彦	皮膚科	1200	補委 文部科学省科学研究費補助金
ラット口腔内炎症モデルを用いた下降性疼痛抑制機序の解明	渡邊 峰朗	矯正歯科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の浸潤・転移に関与する上皮・間葉移行機構におけるp63の役割	東川 晃一郎	口腔顎顔面再建外科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯髄をソースとしたあらゆる硬組織再生へのアプローチ	藤井 理史	むし歯・変色歯診療科	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
マレイン酸イルソグラジンを用いた歯肉上皮細胞の機能制御による歯周病予防法の開発	藤田 剛	歯周診療科	1700	補委 文部科学省科学研究費補助金
顎顔面骨格成長の分子生物学的機構の解明	藤田 正	矯正歯科	3000	補委 文部科学省
化学療法併用多分割放射線治療による口腔癌の制御率とQOLの改善に関する研究	藤田 實	歯科放射線科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
抗菌ペプチドを用いた再生医療用幹細胞の大量増殖技術の開発	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	4002	補委 独立行政法人科学技術振興機構
分子認識機構によるβ デフェンシンの口腔内誘導を利用した歯周病関連細菌の抑制	二川 浩樹	咬合・義歯診療科	10400	補委 文部科学省科学研究費補助金
即時機能回復を目指した新しい補綴主導型インプラント治療システムの開発	日浅 恭	口腔インプラント診療科	2000	補委 文部科学省科学研究費補助金
指尖毛細血管採血による血漿抗体価測定を用いた歯周病細菌感染度の判定法の研究	日野 孝宗	歯周診療科	279	補委 文部科学省科学研究費補助金
全身麻酔薬による鎮痛・不動化作用の機序解明と新しい麻酔法の探索	入松 正浩	歯科麻酔科診療科	2900	補委 文部科学省科学研究費補助金
高性能シランカップリング剤のナノ・レベルでの開発	白井 憲一	むし歯・変色歯診療科	2600	補委 文部科学省科学研究費補助金
シミュレーションシステムの導入による歯科臨床教育の合理化・能率化	富士谷 盛興	むし歯・変色歯診療科	850	補委 文部科学省科学研究費補助金
レーザー処理象牙質における性状解析と新規レジニング接着システムの開発に関する研究	富士谷 盛興	むし歯・変色歯診療科	1500	補委 文部科学省科学研究費補助金
肺線維症に対する線溶系を応用した遺伝子治療の開発	服部 登	第二内科	1300	補委 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又委託元
アフリカツメガエル胚未分化細胞からの歯牙誘導	福井 康人	顎・口腔外科	1100 <small>千円</small>	補委 文部科学省科学研究費補助金
胎盤絨毛由来のマスピン遺伝子を利用した、新たな妊娠合併症予知マーカーの検討	兵頭 麻希	産科婦人科	1500	補委 文部科学省科学研究費補助金
頭頸部扁平上皮癌根治治療後のTS-1補助化学療法の見直し施設無作為化比較試験	平川 勝洋	耳鼻咽喉科	136.5	補委 財団法人先端医療振興財団
ヒトセメント芽細胞に特異的に発現する遺伝子の同定	北川 雅恵	口腔検査センター	2200	補委 文部科学省科学研究費補助金
大腸癌移植モデルマウスを用いた血中アミノグラム測定	北台 靖彦	第一内科	1000	補委 味の素株式会社ライフサイエンス研究所
外来刺激による顎堤骨吸収機構の解明と補綴処置前抑制法の開発	牧平 清超	咬合・義歯診療科	11100	補委 文部科学省科学研究費補助金
矯正力が負荷された組織の分子リズムについて	本田 康文	矯正歯科	1000	補委 文部科学省科学研究費補助金
消化器癌患者の核酸代謝酵素の発現に関する検討	末田 泰二郎	第一外科	273	補委 大鵬薬品工業株式会社 徳島研究センター 育薬研究所
術野で計測可能な脊髄誘発電位測定システムの開発と胸腹部大動脈瘤手術の対麻痺予防	末田 泰二郎	第一外科	12400	補委 文部科学省科学研究費補助金
血行障害に伴う下肢切断者の新しいリハビリテーション:日本における前向き研究	木村 浩彰	リハビリテーション部	2500	補委 文部科学省科学研究費補助金
HIV感染症の医療体制の整備に関する研究	木村 昭郎	原医研内科	5000	補委 文部科学省科学研究費補助金
セミパラテンスク旧ソ連核実験場周辺住民の骨髄異形成症候群(MDS)と白血病	木村 昭郎	原医研内科	3000	補委 文部科学省科学研究費補助金
医薬品の使用成績に基づく有効性、安全性の評価方法に関する研究(H18-医薬一般-004)	木平 健治	薬剤部	500	補委 文部科学省科学研究費補助金
遠隔診断の技術を用いたがんの病理診断支援のあり方に関する研究	有廣 光司	病理部	1800	補委 文部科学省科学研究費補助金
定量PCR法を用いた小児歯周病発症リスクの検討	林 文子	小児歯科	1800	補委 文部科学省科学研究費補助金
舌圧測定装置を用いた新しい嚥下機能検査法の開発	林 亮	口腔インプラント診療科	1500	補委 文部科学省科学研究費補助金
E-カドヘリンのプロセッシング抑制による口腔癌の浸潤・転移阻止に関する基礎的研究・プラスミノゲン/プラスミン系によるE-カドヘリンのプロセッシング機構の解明とその制御	林堂 安貴	顎・口腔外科	1100	補委 文部科学省科学研究費補助金
歯周病原性菌(A. a)の産生する未知のビルレンス因子	鈴木 淳司	小児歯科	800	補委 文部科学省科学研究費補助金

研 究 課 題 名	研 究 者 氏 名	所 属 部 門	金 額	補 助 元 又 委 託 元
血管内皮前駆細胞による血管新生を介した末梢神経再生促進療法の開発	來 嶋 也 寸 無	整 形 外 科	千円 500	補 委 文部科学省科学研究費補助金

計 1
合計 196

- (注) 1国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
大腸疾患 Now 2006, 渡辺英伸・杉原健一・多田正大編, 日本メディカルセンター, 東京, 2006	大腸広基性腫瘍に対する内視鏡治療 2 分割切除	田中信治	第一内科
新しい診断と治療のABC 35/消化器5 大腸腺腫・大腸癌, 藤盛孝博編, 最新医学社, 東京, 2006	第4章 管理・治療 内視鏡的治療:(1)ポリペクトミー, EMR	田中信治	第一内科
Gastroenterology	Nonpolypoid (Flat and depressed) colorectal neoplasms.	R. Soetikno, S. Friedland	第一内科
Helicobacter Research	好酸球性胃炎・肉芽腫性胃炎・リンパ球性胃炎	益田 浩, 伊藤公訓	第一内科
大腸EMR・ESDの基本手技-コツとピットフォール, 適応の決め手, 田中信治編, メジカルビュー社, 東京, 2006	大腸ESDの現状と問題点	田中信治, 岡 志郎	第一内科
大腸EMR・ESDの基本手技-コツとピットフォール, 適応の決め手, 田中信治編, メジカルビュー社, 東京, 2006	ESD併用スネアEMR法	田中信治	第一内科
大腸EMR・ESDの基本手技-コツとピットフォール, 適応の決め手, 田中信治編, メジカルビュー社, 東京, 2006	スネアリング技術に差がある原因は?	岡 志郎, 田中信治	第一内科
大腸EMR・ESDの基本手技-コツとピットフォール, 適応の決め手, 田中信治編, メジカルビュー社, 東京, 2006	硬いスネアの利点と短所	岡 志郎, 田中信治	第一内科
消化器内視鏡	[大腸病変]術前精査とESD症例の選択	岡 志郎, 田中信治	第一内科
消化器内視鏡	大腸SM癌・1,000 μ m時代における内視鏡テクニック	岡 志郎, 田中信治	第一内科
臨床消化器内科	早期大腸癌の深達度診断における拡大内視鏡の有用性	岡 志郎, 田中信治	第一内科
消化器の臨床	EMRとESD施行にあたって-手技の実際とコツ-大腸におけるEMR/ESD	岡 志郎, 田中信治	第一内科
Digestion	Development of a novel method to detect Helicobacter pylori cagA genotype from paraffin-embedded materials: comparison between patients with duodenal ulcer and gastric cancer in young Japanese.	H. Ueda, M. Itoh	第一内科
colitic cancer-診断と治療の現況-, 渡邊聡明・味岡洋一・五十嵐正広・田中信治編, 日本メディカルセンター, 東京, 2006	Ⅲ. 画像診断 内視鏡診断(総論)	田中信治, 岡 志郎	第一内科

日本ロボット学雑誌	非接触剛性イメージャ	川原知洋,松本佐斗志	第一内科
胃と腸	早期大腸癌の内視鏡治療の適応	田中信治	第一内科
胃と腸	1. 早期癌に対する内視鏡治療 4)大腸(2)ESD	田中信治,岡 志郎	第一内科
The International Journal of Robotics Research	Non-contact stiffness imager	T. Kawahara,S. Tanaka	第一内科
インフォームドコンセントのための図説シリーズ 大腸がん 改訂版 小平進 編, 医薬ジャーナル社, 東京, 2006	大腸癌の治療と成績 1)内視鏡的治療	田中信治	第一内科
臨床と研究	大腸内視鏡診断・治療のupdate 安全な内視鏡挿入法と早期大腸癌治療	岡 志郎,田中信治	第一内科
病理と臨床	消化管癌と分子標的治療	安井 弥,北台靖彦	第一内科
Frontiers in Gastroenterology	大腸のESD(内視鏡的粘膜下層剥離術)	田中信治,岡 志郎	第一内科
Modern Physician	早期大腸癌に対するESDとその適応条件	田中信治,岡 志郎	第一内科
Gastrointestl Endosco	Double-balloon enteroscopy in patients with GI bleeding of obscure origin.	N. Manabe,S. Tanaka	第一内科
日消がん検診誌	上部消化管内視鏡検診の現状および受診者側の期待度-内視鏡検診の標準的方法の策定に向けて-	日山 亨,吉原正治	第一内科
消化器内視鏡	EMR・ESDの標準的適応-EMRとESDの使い分け-	田中信治,岡 志郎	第一内科
早期大腸癌	Narrow Band Imaging(NBI)拡大観察による大腸腫瘍に対する微小血管診断学	田中信治,平田真由子	第一内科
J Gastroenterol Hepatol	Surface structure of antral gastric mucosa represents the status of histologic gastritis: fundamental evidence for the evaluation of antral gastritis by magnifying endoscopy.	S. Kimu,M. Itoh	第一内科
Scand J Gastroenterol	Real-time visualization and quantitation of canine gastric mucosal blood flow by contrast-enhanced ultrasonography.	D. Kamino,J. Hata	第一内科

Dig Endosc	Pit pattern diagnosis for colorectal neoplasia using narrow band imaging magnification.	S. Tanaka,S. Oka	第一内科
早期大腸癌	炎症性腸疾患の拡大内視鏡診断(1)表面構造	國弘真己,田中信治	第一内科
臨床消化器内科	胃カルチノイドの診断と治療	伊藤公訓,岡 志郎	第一内科
消化器内視鏡	UC10万人時代の拡大内視鏡検査:治療効果判定の画像検査は、いつ、どのように行うか-体外式超音波検査を含めて-	上野義隆,田中信治	第一内科
早期大腸癌	LSTの診断と治療(2)腫瘍特性と治療手技からみたLSTの取扱い	岡 志郎,田中信治	第一内科
Gastrointest Endosc	High-magnification colonoscopy (with Videos)	S. Tanaka,Kaltenbach T	第一内科
Dig Dis Sci	Helicobacter pylori infection is the major risk factor for gastric inflammation in the cardia.	Y. Egi,S. Kimu	第一内科
Medical Tribune	~径20mm以上の測方発育型大腸腫瘍 ~顆粒型病変には拡大観察を併用したEMS分割切除術が有用	岡 志郎,	第一内科
早期大腸癌	大腸腫瘍に対する治療の現状とESDの位置づけ	田中信治,岡 志郎	第一内科
早期大腸癌	大腸腫瘍に対する治療の現状とESDの位置づけ	田中信治,岡 志郎	第一内科
早期大腸癌	大腸ESDのコツとピットフォール;胃と大腸の違いを含めて(7)Hook&Flexナイフを中心とした大腸ESDの実際	田中信治,岡 志郎	第一内科
消化器内視鏡	消化管出血に対するダブルバルーン内視鏡検査の有用性と問題点	眞部紀明,春間 賢	第一内科
消化器科	抗壁細胞抗体と血清ペプシノゲン法を用いた胃癌スクリーニング	杉生訓昭,鎌田智有	第一内科
Int J Cancer	Expression of activated platelet-derived growth factor receptor in stromal cells of human colon carcinomas is associated with metastatic potential.	Y. Kitadai,T. Sasaki	第一内科
Cancer Res	Plasticity in urokinase-type plasminogen activator receptor (uPAR) display in colon cancer yields metastable subpopulations oscillating in cell surface uPAR density-implications in tumor progression.	L. Yang,H. Avila	第一内科

Gastrointest Endosc	Advantage of endoscopic submucosal dissection compared with EMR for early gastric cancer.	S. Oka,S. Tanaka	第一内科
消化器科	大腸腺腫内視鏡的摘除後における異時性多発病変の特徴とサーベイランスのあり方	岡 志郎,田中信治	第一内科
消化器内視鏡	大腸病変:色素内視鏡による鑑別診断	岡 志郎,田中信治	第一内科
胃と腸	ダブルバルーン内視鏡を用いた小腸腫瘍性疾患の診断と治療	眞部紀明,田中信治	第一内科
胃と腸	大腸腫瘍の拡大観察—何が進歩したのか V型pit pattern診断の変遷と現状—癌の深達度診断を中心に	田中信治,岡 志郎	第一内科
消化器科	臨床経過からみた食道sm癌に対するEMRの有用性	金子 巖,田中信治	第一内科
Dis Colon Rectum	Lymphatic vessel density at the site of deepest penetration as a predictor of lymph node metastasis in submucosal colorectal cancer.	I.Kaneko,S. Tanaka	第一内科
Dig Dis Sci	Gastrointestinal stromal tumor in jejunum: diagnosis using contrast-enhanced ultrasonography and double-balloon enteroscopy.	K. Kunihiro,N. Manabe	第一内科
J Clin Gastroenterol	The effect of Helicobacter pylori eradication therapy on gastric ulcer healing after endoscopic mucosal resection.	H. Ueda,M. Itoh	第一内科
今日の治療方針2007年, 山口徹・北原光夫・福井次矢編, 医学書院, 東京, 2007	内視鏡的粘膜切除術	田中信治	第一内科
食道・胃ESDの基本手技—手技のコツとビットフォール, 適応の決め手—, 小山恒男編, メジカルビュー社, 東京, 2007	胃ESD—私の戦略	岡 志郎,田中信治	第一内科
早期大腸癌	拡大内視鏡診断のA to Z, V I 型高度不整 vs 軽度不整	岡 志郎,田中信治	第一内科
大腸疾患NOW2007, 杉原健一・多田正大・藤森孝博・五十嵐正広編, 日本メディカルセンター, 東京, 2007	3. 大腸SM癌内視鏡治療後のサーベイランス	田中信治,五十嵐正広	第一内科
臨床消化器内科	ダブルバルーン内視鏡による診断 (1)炎症性疾患	眞部紀明,春間 賢	第一内科
消化器内視鏡	下部消化管内視鏡検査, EMR時のセデーション	日山 亨,田中信治	第一内科
日本内科学会雑誌	2.大腸腺腫・早期癌の内視鏡治療—適応と根治度判定・経過観察	田中信治,岡 志郎	第一内科

早期大腸癌	NBIと臨床(1) 腫瘍の診断d. Narrow Band Imaging(NBI)による大腸腫瘍の組織異型度・深達度診断	田中信治,平田真由子	第一内科
Dig Dis Sci	Small-intestinal Peutz-jeghers polyps resected by endoscopic polypectomy with double-balloon enteroscopy and removal confirmed by ultrasonography.	Z.Matsumoto,N. Manabe	第一内科
Aliment Pharmacol Ther	The usefulness of transabdominal ultrasound for the diagnosis of lower gastrointestinal bleeding.	T.Yamaguchi,N. Manabe	第一内科
Scand J Gastroenterol	New method of evaluating gastric mucosal blood flow by ultrasound.	H. Mitsuoka,J. Hata	第一内科
胃と腸	大腸細菌状病変の内視鏡診断	岡 志郎,田中信治	第一内科
Current Therapy	拡大内視鏡による大腸Pit pattern診断の現況	田中信治,岡 志郎	第一内科
Scand J Gastroenterol	Predicting the need for surgery in Crohn's disease with contrast harmonic ultrasound.	K. Kunihiro,J. Hata	第一内科
IBD Research	クローン病におけるmucosal healing(粘膜治癒)の重要性	上野義隆,田中信治	第一内科
広島医学	ここまでできる胃がん内視鏡治療 -胃ESDの現況と展望-	岡 志郎,田中信治	第一内科
Aliment Pharmacol Ther	Efficacy of rabeprazole on heartburn symptom resolution in patients with non-erosive and erosive gastro-oesophageal reflux disease: a multicenter study from Japan.	H. Niwa,M. Sasaki	第一内科
大腸・小腸の治療内視鏡, 原田容治・井上雄志編, メジカルビュー社, 東京, 2007	大腸癌に対する治療-2 EPMP基本	岡 志郎,田中信治	第一内科
Gastrointest Endosc	Endoscopic submucosal dissection for colorectal neoplasia: possibility of standardization.	S. Tanaka,S. Oka	第一内科
Gastrointest Endosc	Optical biopsy of GI lesions by reflectance-type laser-scanning confocal microscopy.	S. Yoshida,S. Tanaka	第一内科
Gastrointest Endosc	Magnifying endoscopy with narrow band imaging for diagnosis of colorectal tumors.	M.Hirata,S. Tanaka	第一内科
週刊 日本医事新報, No.4336, 57-62, 2007.6.2	腹膜透析における合併症-腹膜劣化の対策を考える	頼岡 徳在	第二内科

中国腎不全研究会誌,15,287-288,2006	透析シャント狭窄における超高耐圧バルーンの使用経験	土井盛博, 山下哲正, 碓井公治, 重本憲一郎, 原田知, 頼岡徳在	第二内科
中国腎不全研究会誌,15,387-388,2006	妊娠26週の潰瘍性大腸炎患者における顆粒球除去療法の経験	吾郷里華, 土井俊樹, 丸林誠二, 島筒里香子, 工藤美樹, 北村正輔, 上野敏憲, 田中伸治, 頼岡徳在	第二内科
Therapeutic Apheresis and Dialysis,10(1),90-93,2006	A case report of plasmapheresis in paraneoplastic cerebellar ataxia associated with anti-tr antibody.	Yoshihiko Taniguchi, Chie Tanji, Toru Kawai, Hidetoshi Saito, Seiji Marubayashi, Noriaki Yorioka	第二内科
Clin Exp Nephrol,10,210-215,2006	Performance of polysulfone membrane dialyzers and dialysate flow pattern.	Ayumu Nakashima, Satoshi Ogata, Shigehiro Doi, Michihiro Yamahira, Satoe Naraki, Norihisa Takasugi, Toshifumi Ohmoto, Takafumi Ito, Takao Masaki, Noriaki Yorioka	第二内科
Clinical and Experimental Immunology,144,353-361,2006	PDGF receptor tyrosine kinase inhibitor suppresses mesangial cell proliferation involving STAT3 activation	T.Hirai, T.Masaki, M.Kuratsune, N.Yorioka, and N.Kohno	第二内科
Biological Psychiatry,59:380-386,2006	Distorted images of one's own body activates the prefrontal cortex, and limbic/paralimbic system in young women: a functional magnetic resonance, imaging study.	山脇成人	他 精神科神経科
Experimental Brain Research,175: 536-543,2006	Anticipation of affective image modulates visual evoked magnetic fields (VEF).	山脇成人	他 精神科神経科
Neural Networks,19: 1233-1241,2006	Brain mechanism of reward prediction under predictable and unpredictable environmental dynamics.	山脇成人	他 精神科神経科
European Archives of Psychiatry and Clinical Neuroscience,257: 149-152,2007	Post-stroke affective or apathetic depression and lesion location; left frontal lobe and bilateral basal ganglia.	山脇成人	他 精神科神経科
The American Journal of Geriatric Psychiatry,15: 594-603,2007	Attenuated anterior cingulate activation during a verbal fluency task in elderly patients with a history of multiple-episode depression.	山脇成人	他 精神科神経科
Brain Research,1151: 134-141,2007	Anticipation of affective images and event-related desynchronization (ERD) of alpha activity: an MEG study.	山脇成人	他 精神科神経科
Support Care Cancer,2007(in press)	Factors related to anxiety and depression in women with breast cancer and their husbands: role of alexithymia and family functioning.	山脇成人	他 精神科神経科
The American Journal of Surgery 192(2):252-254,2006.8	Radiofrequency-assisted partial splenectomy with a new and simple device	T.Itamoto	他 第二外科
Transplantation 82(12):1712-1719,2006.12	Adoptive transfer of TRAIL-expressing natural killer cells prevents recurrence of hepatocellular carcinoma after partial hepatectomy	M. Ohira	他 第二外科

中国腎不全研究会誌15: 275-276,2006.4	CFSE-MLRを指標とした腎移植後維持免疫抑制療法の最適化の試み	田中友加	他	第二外科
Am J Transplant 6(4):797-805,2006.4	Near-infrared spectroscopic analysis of hemodynamics and mitochondrial redox in right lobe grafts in living-donor liver transplantation	H.Mitsuta	他	第二外科
Journal of Neurosurgery 104, 2006, p884-891	10 Natural course of incidentally found nonfunctioning pituitary adenoma, with special reference to pituitary apoplexy during follow-up examination	Arita K, Tominaga A, Sugiyama K, Eguchi K, Iida K, Sumida M, Migita K, Kurisu K		脳神経外科
脳神経外科ジャーナル 15, 2006, p631-635	21 クリッピングの10年後に再増大再破裂した脳動脈瘤に対するコイル塞栓術	川本仁志, 廣畑泰三, 大庭信二, 岐浦禎展, 川本行彦, 栗栖 薫		脳神経外科
脳神経外科 34, 2006, p513-518	28 Gliomatosis cerebri の2症例	黒木一彦, 杉山一彦, 田口治義, 湯川 修, 梶原佳則, 黒川泰玄, 碓井 智, 栗栖 薫		脳神経外科
Anticancer Research 26, 2006, p1351-1357	30 Prognosis of cerebellar glioblastomas: correlation between prognosis and immunoreactivity for epidermal growth factor receptor compared with supratentorial glioblastomas.	Saito T, Hama S, Kajiwara Y, Sugiyama K, Yamasaki F, Thohar M A, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Clinical Neurology and Neurosurgery 108, 2006, p583-585	34 CT perfusion imaging in the syndrome of the sinking skin flap before and after cranioplasty	Sakamoto S, Eguchi K, Kiura Y, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Acta Neurochirurgica 148, 2006, p77-81	35 CT perfusion imaging for childhood moyamoya disease before and after surgical revascularization	Sakamoto S, Ohba S, Shibukawa M, Kiura Y, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
American Journal of Neuroradiology 27, 2006, p1332-1337	36 Subtracted three-dimensional CT angiography for evaluation of internal carotid artery aneurysms: comparison with conventional digital subtraction angiography	Sakamoto S, Kiura Y, Shibukawa M, Ohba S, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Acta Neurochirurgica 148, 2006, p139-143	37 Characteristics of aneurysms of the internal carotid artery bifurcation	Sakamoto S, Ohba S, Shibukawa M, Kiura Y, Okazaki T, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Neurosurgical Review 29, 2006, p201-207	38 The characteristics of the anterior communicating artery aneurysm complex by three-dimensional digital subtraction angiography	Sadatomo T, Yuki K, Migita K, Taniguchi E, Kodama Y, Kurisu K		脳神経外科
Neurosurgical review 29, 2006, p246-248	42 A pituitary abscess showing high signal intensity of diffusion-weighted imaging	Takayasu T, Yamasaki F, Tominaga A, Hidaka T, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Journal of Neurooncology 77, 2006, p273-277	44 Cytoplasmic, but not nuclear, p16 expression may signal poor prognosis in high-grade astrocytomas	Thohar M A, Hama S, Kajiwara Y, Sugiyama K, Saito T, Matsuura S, Yamasaki F, Arita K, Kurisu K		脳神経外科
Hiroshima Journal of Medical Science 55, 2006, p39-43	47 Zygomatic osteotomy for resection of cavernous angioma in dominant hemispheric temporal lobe	Hanaya R, Arita K, Itoh Y, Kiura Y, Iida K, Kurisu K		脳神経外科
Brain Research 1087, 2006, p15-27	50 The effects of neuronal induction on gene expression profile in bone marrowstromal cells (BMSC)---a preliminary study using microarray analysis.	Yamaguchi S, Kuroda S, Kobayashi H, Shichinohe H, Yano S, Hida K, Shinpo K, Kikuchi S, Iwasaki Y		脳神経外科

Epilepsia 47, 2006, p176-180	51 Efficacy of steroid for cerebral swelling and seizures during subdural grid EEG recording in children	Araki T, Otsubo H, Makino Y, Elliott I, Iida K, Ochi A, Weiss SK, Chuang SH, Rutka JT, Snead OCIII	脳神経外科
Journal of Neurosurgery (1 Suppl Pediatrics) 105, 2006, p41-49	54 Preoperative simulation of intracerebral epileptiform discharges: synthetic aperture magnetometry virtual sensor analysis of interictal magnetoencephalography data	Oishi M, Otsubo H, Iida K, Suyama Y, Ochi A, Weiss SK, Xiang J, Gaetz W, Cheyne D, Chuang SH, Rutka JT, Snead OCIII	脳神経外科
Exp Brain Res 175, 2006, p536-543	55 Anticipation of affective image modulates visual evoked magnetic fields (VEF)	Onoda K, Okamoto Y, Shishida K, Hashizume A, Ueda K, Kinoshita A, Yamashita H, Yamawaki S	脳神経外科
Neuropsychobiology 54, 2006, p215-225	59 Enhanced reactivity and delayed recovery of sensorimotor cortex in the novelty seeking personality	Shishida K, Hashizume A, Onoda K, Okamoto Y, Yamawaki S	脳神経外科
Am J Med Genet A. 140, 2006, p358-367	64 Monoallelic BUB1B mutations and defective mitotic-spindle checkpoint in seven families with premature chromatid separation (PCS) syndrome	Matsuura S, Matsumoto Y, Morishima K, Izumi H, Matsumoto H, Ito E, Tsutsui K, Kobayashi J, Tauchi H, Kajiwara Y, Hama S, Kurisu K, Tahara H, Oshimura M, Komatsu K, Ikeuchi T, Kajii T	脳神経外科
Arthroscopy.22(4):463.e1-5.(2006年4月)	Anterior cruciate ligament augmentation procedure with a 1-incision technique: anteromedial bundle or posterolateral bundle reconstruction.	越智光夫 他	整形外科
Arthroscopy. 22(5):571.e1-3.(2006年5月)	New hamstring fixation technique for medial collateral ligament or posterolateral corner reconstruction using the mosaicplasty system.	安達伸生 他	整形外科
J Bone Joint Surg Am. 88(9):1915-9.(2006年9月)	Rotational acetabular osteotomy for advanced osteoarthritis secondary to dysplasia of the hip.	安永裕司 他	整形外科
Surg Oncol. 15(3):167-71. (2006年11月)	Conservative surgery for well-differentiated liposarcomas of the extremities adjacent to major neurovascular structures.	久保忠彦 他	整形外科
Spine. ;31(26):3013-7. (2006年12月)	Postoperative segmental C5 palsy after cervical laminoplasty may occur without intraoperative nerve injury: a prospective study with transcranial electric motor-evoked potentials.	田中信弘 他	整形外科
Anticancer Res. 27(1A):411-5.(2007年2月)	Telomere length and telomerase activity in extra-abdominal desmoid tumors.	松尾俊宏 他	整形外科
日本臨牀 新領域別症候群シリーズNo2,,,257-259,2006,0628	内分泌症候群(第2版)II-その他の内分泌疾患を含めて-V. 男性精機能 造精機能, 精子輸送, 性機能障害による男子不妊症 Young症候群	三田耕司(講師), 碓井亞	泌尿器科
Hiroshima J. Med. Sci.,55,2,65-70,2006,06	Transrectal Ultrasound- guided 10-core Biopsy of the Prostate for Japanese Patients.	Akio Matsubara(准教授), Kazuaki Mutaguchi, Hiroaki Yasumoto, Yukio Takeshima, Jun Teishima, Mitsuhiro Seki, Yasuhisa Hasegawa, Tsuguru Usui	泌尿器科
International Journal of Urology,13,8,1098-1102,2006,	Lower urinary tract symptoms and risk of prostate cancer in Japanese men.	A. Matsubara(准教授), H. Yasumoto, J. Teishima, M. Seki, K. Mita, Y. Hasegawa, T. Usui	泌尿器科

泌尿器外科,19,8,997-1000,2006,08	2. 局限性前立腺癌に対する密封小線源永久挿入治療の経験	亭島淳(助教), 松原昭郎, 長谷川泰久, 石光広, 安本博晃, 碓井亜, 橋本泰年, 和田崎晃一, 伊藤勝陽		泌尿器科
西日本泌尿器科,68,9,429-433,2006,09	広島大学病院泌尿器科における体腔鏡下手術214例の臨床的検討	三田耕司(講師), 繁田正信, 郷力昭宏, 井上洋二, 長谷川泰久, 石光広, 加藤昌生, 角西雄一, 亭島淳, 松原昭郎, 碓井亜		泌尿器科
西日本泌尿器科,68,11,527-532,2006,11	広島県備北地区における前立腺癌検診—3年間の検討—	亭島淳(助教), 松原昭郎, 吉野干城, 長谷川泰久, 石光広, 安本博晃, 碓井亜, 小林加直, 丸山聡, 大原慎也, 岩佐嗣夫, 田中学, 西本憲治		泌尿器科
Cancer Sci.,98,1,32-36,2007,01	DNA methylation of the RIZ1 gene is associated with nuclear accumulation of p53 in prostate cancer.	Yasuhisa Hasegawa(助教), Akio Matsubara, Jun Teishima, Mitsuhiro Seki, Koji Mita, Tsuguru Usui, Naohide Oue, Wataru Yasui		泌尿器科
広島医学,60,2,69-73,2007,02	前立腺がんの治療	松原昭郎(准教授), 亭島淳, 安本博晃, 碓井亜		泌尿器科
International Journal of Urology,14,,156-160,2007,	Anterior urethral valves in children: A possible association between anterior urethral valves and Couper's duct cyst.	Mitsuru Kajiwara, Katsumi Inoue, Makoto Kato(助教), Akihiro Usui, Akio Matsubara, Tsuguru Usui		泌尿器科
Audio-visual Journal of JUA,13,2,13-9(ビデオ),2007,03	会陰式前立腺全摘除術—手技と治療成績—	松原昭郎(准教授), 亭島淳, 安本博晃, 池田健一郎, 碓井亜		泌尿器科
Maturitas,56,,216-222,2007,	Women's perception of male erectile dysfunction drugs in the general population.	Koji Mita(講師), Masanobu Shigeta, Masayuki Kakehashi, Akio Matsubara, Jun Teishima, Masao Kato, Mitsuhiro Seki, Yasuhisa Hasegawa, Yoji Inoue, Tsuguru Usui		泌尿器科
Journal of the Neurological Sciences ,246,79-83,2006.5	High frequency of open-angle glaucoma in Japanese patients with Alzheimer's disease	Tomoko Yokoyama	他	眼科
Japanese Journal of Ophthalmology,50,274-276,2006.5	Prevalence of glaucoma in adults with down's syndrome	Tomoko Yokoyama	他	眼科
Experimental Eye Research,83,602-609,2006.5	High glucose concentration induces elevated expression of anti-oxidant and proteolytic enzymes in cultured human retinal pigment epithelial cells.	Tomoko Yokoyama	他	眼科
Neurochem Int,49,669-675,2006.7	R659S mutation of gammaPKC is susceptible to cell death: Implication of this mutation/polymorphism in the pathogenesis of retinitis pigmentosa.	Hideki Mochizuki	他	眼科
Investigative Ophthalmology & Visual Science,47,4935-4941,2006.11	Triamcinolone acetonide inhibits IL-6- and VEGF-induced angiogenesis downstream of the IL-6 and VEGF receptors.	Atsushi Minamoto	他	眼科

Retina,26,985-987,2006.11	No association of complement factor H gene polymorphism and age-related macular degeneration in the Japanese population	Junko Uka	他	眼科
Hiroshima J Med Sci,55,109-116,2006.11	Pigment epithelium-derived factor promotes neurite outgrowth of retinal cells	Seiji Tanimoto	他	眼科
RETINA TODAY,33,,2007.1	No Association of CFH Gene Polymorphism, AMD in Japanese	Junko Uka	他	眼科
耳鼻臨床 99:510-511, 2006	嗅覚障害に対するステロイド局所療法	平川勝洋		耳鼻咽喉科
Auris Nasus Larynx 34: 319-326, 2007	Submucous turbinectomy combined with posterior nasal neurectomy in the management of severe allergic rhinitis: Clinical outcomes and local cytokine changes.	Ogawa T	他	耳鼻咽喉科
Acta Otolaryngol 126:15-19,2006	Protective effect of edaravone against the ototoxicity of Pseudomonas aeruginosa exotoxin A.	Takumida M	他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 補 117:7-11,2006	ゲンタマイシン鼓室内注入によるメニエール病の治療	工田昌矢	他	耳鼻咽喉科
耳鼻咽喉科臨床 補117: 60-65, 2006	当科における内視鏡下副鼻腔手術の治療成績—アレルギーの関与を中心に—	宮里麻鈴	他	耳鼻咽喉科
耳鼻臨床 99: 71-79, 2006	副鼻腔炎に対するクラビットの効果的な投与方法の検討	竹野幸夫	他	耳鼻咽喉科
薬理と治療 (JPT) 34: 97-102, 2006	微粉碎コンニャクグルコマンナンの臨床応用に関する基礎的検討	亀好良一,竹野幸夫	他	耳鼻咽喉科
日本口腔外科学会誌,Vol. 53, No5: 262-270,5月;2007年	表在性歯肉癌に対する光線力学療法の検討	虎谷茂昭	他	顎・口腔外科
International Journal of Oncology,17(3):591-6. ,Mar; 2007.	Immunohistochemical expression of heparin-binding protein 17/fibroblast growth factor-binding protein (HBp17/FGFBP-1) as an angiogenic factor in head and neck tumorigenesis	張 雁	他	顎・口腔外科
Oncol Report,17(2):417-23,,Feb; 2007.	Induction of alpha2-antiplasmin inhibits E-cadherin processing mediated by the plasminogen activator/plasmin system, leading to suppression of progression of oral squamous cell carcinoma via upregulation of cell-cell adhesion.,	林堂安貴	他	顎・口腔外科
Oral Science International,Nov:2006,,3(2) 56-63,	Developmental Signaling Disorders in Craniofacial Anomalies and Cancers	張 雁	他	顎・口腔外科
広島大学歯学雑誌 第38巻1号 80-83, 2006	認知症の習慣性顎関節脱臼に対する自己血注入療法の1例	西 裕美,東森秀年,信森剛,太田耕司,小野重弘,東川晃一郎,鎌田伸之		口腔顎顔面再建外科

広島大学歯学雑誌 第38巻2号 157-161, 2006	セルジンガー法を用いた放射線併用超選択的動注化学療法による舌癌治療	小野重弘, 太田耕司, 宮内美和, 瀧 雅行, 水田邦子, 藤本 伸一, 豊田尚之, 和田崎晃一, 鎌田伸之	口腔顎顔面再建外科
日本口腔顎顔面外傷学会雑誌 第5巻2号 83-88, 2006	下顎骨骨折治療のプレート固定におけるコントラアングルドライバーシステムの応用	太田耕司, 宮内美和, 東川晃一郎, 島末 洋, 二宮嘉昭, 小野重弘, 信森 剛, 重石英生, 東森秀年, 鎌田伸之	口腔顎顔面再建外科
Cell Biology International, 30(6): 521-524, 2006	Human autologous serum obtained using a completely closed bag system as a substitute for foetal calf serum in human mesenchymal stem cell cultures.	Noriyoshi Mizuno 他	歯周診療科
Dentomaxillofac Radiol. 36(3):149-54, 2007年 3月	Identification of post-menopausal women at risk of osteoporosis by trained general dental practitioners using panoramic radiographs.	田口 明 他	歯科放射線科
Dentomaxillofac Radiol. 36(3):143-8, 2007年 3月	Risk of vertebral osteoporosis in post-menopausal women with alterations of the mandible.	田口 明 他	歯科放射線科
Dentomaxillofac Radiol. 36(1):28-33, 2007年 1月	Diagnostic efficacy of alveolar bone loss of the mandible for identifying postmenopausal women with femoral osteoporosis.	石井 光道 他	歯科放射線科
Menopause. 14(3 Pt 1):500-4, 2006年 6月	Interaction of obesity and skeletal bone mineral density in tooth retention in Japanese postmenopausal women.	田口 明 他	歯科放射線科
Dentomaxillofac Radiol. 35(4):249-52, 2006年 7月	Diagnostic performance of general dental practitioners after lecture in identifying post-menopausal women with low bone mineral density by panoramic radiographs.	スティブラパボン ピポツプ 他	歯科放射線科
Osteoporos Int. 17(5):753-9, 2006年 5月	Computer-aided system for measuring the mandibular cortical width on dental panoramic radiographs in identifying postmenopausal women with low bone mineral density.	アグス ザイナル アリフィン 他	歯科放射線科
小児歯科学雑誌 45(1): 92-96 2007年3月	クリンパブルフックとセクショナルワイヤーを用いた少数歯の咬合誘導	海原 康孝, 青木 梢, 三宅 奈美, 香西 克之	小児歯科

計 10
計 156

(注)1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)
2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 越智光夫
管理担当者氏名	総務G副課長 久國利之, 医事課長 熊谷圭司

		保管場所	分類方法	
診療に関する諸記録				
病院日誌		総務グループ	カルテは、1患者1カルテで中央病歴管理室で保管管理し、エックス線写真は、各診療科で保存管理している。	
各科診療日誌, 手術記録, 看護記録, 検査所見記録, エックス線写真, 紹介状, 退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各診療科及び中央病歴管理室		
処方せん		薬剤部		
病院の管理及び運営に関する諸記録	従事者数を明らかにする書類	総務グループ		
	高度の医療の提供の実績	医事グループ		
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	総務グループ		
	高度の医療の研修の実績	総務グループ		
	閲覧実績	総務グループ		
	紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ		
	入院患者数, 外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ 薬剤部		
	規則第9条の23及び第1条各号に掲げる体制確保の状況	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況		医療安全管理部
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況		医療安全管理部
		医療に係る安全管理を行う部門の配置状況		医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況		医療相談室
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況		各診療科
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況		医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況		医療安全管理部
医療機関内の事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策状況		医療安全管理部		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	運営支援部長	西田良一
閲覧担当者氏名	運営支援部総務G副課長	久國利之
閲覧の求めに応じる場所	総務グループ室	

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧実績

前年度の総閲覧件数	延	0件
閲覧者別	医師	延 0件
	歯科医師	延 0件
	国	延 0件
	地方公共団体	延 0件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	64.7%	算定期間	平成18年4月1日～平成19年3月31日
算出根拠	A：紹介患者の数		14,599人
	B：他の病院又は診療所に紹介した患者の数		5,147人
	C：救急用自動車によって搬入された患者の数		1,090人
	D：初診の患者の数		27,057人

(注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。

2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

規則第9条の23及び第11条各号に掲げる体制の確保

① 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有 (1名)・無
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有 (1名)・無
③ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有 ・ 無
<p>・ 所属職員： 専任 (4)名 兼任(122)名 (医科RM93名、歯科RM29名)</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理に関する委員会の決定事項の周知徹底及び委員会との連絡調整 2) 病院内の医療安全に係る各種マニュアルの管理 3) 医療事故等に関連する情報の収集、調査及び分析に関すること 4) 医療事故等に関する診療録等の記載内容が正確であるかの点検及び指導 5) 患者及び家族への説明等、医療事故発生時の対応状況の確認及び指導 6) 医療事故等の原因究明の実施・確認及び指導 7) 医療事故防止に係る教育・研究及びその環境整備に係る企画立案 8) 院内感染防止に関する情報の収集、調査、分析及び指導 9) 院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供 10) 院内感染症のコンサルテーション 11) 院内感染サーベイランス 12) 院内感染情報のデータベース化 13) 病院における定期的な巡視 	
④ 当該病院内に患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	有 ・ 無
⑤ 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有 ・ 無
<p>・ 指針の主な内容</p> <p>【医療安全管理マニュアル】</p> <p>第1部 医療安全管理のための指針</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理に関する基本的な考え方 2. 用語の説明 3. 医療安全管理に関する推進方法 <p>第2部 医療安全管理の具体的推進</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全管理体制及び業務について <ol style="list-style-type: none"> I 医療安全管理体制について II 各組織の業務内容について <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理部 <ol style="list-style-type: none"> (1) 医療安全管理室 (2) 感染管理室(ICT) 2) リスクマネジャー 3) リンクナース及び感染対策実践者 4) 医療事故防止等対策委員会 5) 患者影響レベル判定小委員会(医科領域) 6) 医療事故防止等対策小委員会(歯科領域) 7) 医療安全管理室会議 	

- 8) リスクマネジャー代表者会議
 - 9) 感染症対策委員会
 - 10) 感染症対策小委員会(医科領域)(歯科領域)
 2. 院内報告システム(医科領域)
 - I 報告様式
 - II 用語の説明
 - III 医療事故判定システム
 - IV インシデントレポート
 - 1) 報告者
 - 2) 報告の時期及び報告先
 - 3) 報告すべき内容等
 - 4) 保存期間
 - V 医療事故報告書及び改善策検討報告書
 - VI 報告の流れ
 - VII 報告された事象の分析と改善策策定について
 3. 院内報告システム(歯医科領域)
 - I 報告様式
 - II 用語の説明
 - III 医療事故判定システム
 - IV インシデントレポート
 - 1) 報告者
 - 2) 報告の時期及び報告先
 - 3) 報告すべき内容等
 - 4) 保存期間
 - V 医療事故報告書及び改善策検討報告書
 - VI 報告の流れ
 - VII 報告された事象の分析と改善策策定について
 4. 職員に対する安全教育・研修
 5. 医療事故発生時の具体的な対応方法
 - 1) 患者の安全の確保
 - 2) 患者と家族への説明
 - 3) カルテ及び看護記録の記載上の留意点
 - 4) 報告(医科領域)
 - 5) 報告(歯科領域)
 6. 医療事故の公表
 7. 記録の重要性
 8. 再発防止策の見当
- 第3部 インフォームドコンセント
1. インフォームドコンセントの目的
 2. インフォームドコンセントの成立要件
 3. 本院における説明事項
 4. インフォームドコンセント後の処理
 5. 病状説明書
- 第4部 医療安全管理各種マニュアル(医科領域)
1. 医療事故防止のチェック項目
 2. 研修医が単独で行ってよい処置・処方の基準について
 3. 確認会話マニュアル

4. 造影剤漏出時の対応
5. 点滴の誤連結防止について
6. ドレーン・チューブトラブルについて
7. 薬剤の誤投与について
8. 抗がん剤の用法・用量間違い防止マニュアル
9. 化学療法の施行による医療事故防止のための留意事項について
10. 患者誤認防止マニュアル(同姓同名)
11. インスリン投与マニュアル
12. 広島大学病院身体抑制・拘束マニュアル
13. 無断外出・離院時の対応手順
14. 転倒・転落(アセスメントツール)
15. 輸血療法
16. 注射
17. 抗菌剤使用に関する注意事項
18. 与薬
19. 人工呼吸器
20. 検査部
21. 病理部
22. 薬剤部
23. 放射線部
24. 手術部

第4部 医療安全管理各種マニュアル(歯科領域)

1. 医療事故防止のチェック項目
2. 研修医が単独で行ってよい処置・処方of基準について
3. 確認会話マニュアル
4. 造影剤漏出時の対応
5. 点滴の誤連結防止について
6. ドレーン・チューブトラブルについて
7. 薬剤の誤投与について
8. 抗がん剤の用法・用量間違い防止マニュアル
9. 化学療法の施行による医療事故防止のための留意事項について
10. 患者誤認防止マニュアル(同姓同名)
11. インスリン投与マニュアル
12. 広島大学病院身体抑制・拘束マニュアル
13. 無断外出・離院時の対応手順
14. 転倒・転落(アセスメントツール)
15. 輸血療法
16. 注射
17. 抗菌剤使用に関する注意事項
18. 与薬
19. 人工呼吸器
20. 科・部別の事例別防止対策
21. 歯科治療中の緊急事態発生時の対応(救命・救急処置が必要な場合)
22. 抑制による行動調整の基準マニュアル
23. 同意書(体動のコントロール)
24. 開口器使用マニュアル
25. 同意書(開口器使用)

⑥ 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年88回
<p>・ 活動の主な内容</p> <p>○ 医科・歯科共通</p> <p>1) 「医療事故防止等対策委員会」は、月1回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会」及び「医療事故防止等対策小委員会」を統括し、医療の安全、医療事故の防止、医療訴訟に関する事故を審議する。</p> <p>また、「医療事故防止等対策委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会」、「医療事故防止対策小委員会」及び「医療安全管理室会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。</p>	

<p>2) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項を行う。</p> <p>○ 医科領域</p> <p>1) 「患者影響レベル判定小委員会」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療定義に照らして、患者影響レベル3b以上の事象については医療事故か医療事故でないかを、2週間に1回判定し、病院長に報告する。</p> <p>2) 「医療安全管理室会議」は、毎週1回開催し、医療安全対策の推進及び啓発のために必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。</p> <p>3) 「感染症対策小委員会」(医科領域)は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。</p> <p>○ 歯科領域</p> <p>1) 「医療事故防止等対策小委員会」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。また、医療事故の可能性のある事例については病院長へ報告する。</p> <p>2) 「感染症対策小委員会」(歯科領域)は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し(穿刺)感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。</p>	
--	--

⑦ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年12回
--------------------------	------

<p>・ 研修の主な内容:別紙のとおり</p>	
<p>⑧ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有) ・ 無</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容:</p> <p>○ 医科・歯科共通</p> <p>1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネージャー会議をとおして伝達している。</p>	

- 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療事故防止等対策委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。
- 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。
- 4) 感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。

○医科領域

- 1) 発生した重要なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療事故防止等委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。
- 2) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。
- 3) リスクマネジャー会議においてインシデントの事例についてグループワークを行い、発表をとおし、医療安全管理に関して再認識を図る。

○歯科領域

- 1) リスクマネジャー代表者会議において、インシデントレポートの分析・改善策の策定、安全に関する啓発活動の一環としてポスター等の作成、年間の安全教育・研修計画を立案する。
また、リスクマネジャー会議で医療事故防止に関する積極的な意見交換により、構成員に周知徹底を図る。
- 2) 年間のインシデントレポートの集計結果及び事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。